

平成 29 年度  
バリアフリー・ユニバーサルデザイン  
推進功労者表彰

受賞事例集



平成29年度

バリアフリー・ユニバーサルデザイン

推進功労者表彰受賞事例集の刊行にあたって

内閣府では、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する優れた取組を広く普及させることを目的として、バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰を実施いたしました。

この表彰は、高齢者、障害者、妊婦や子供連れの人を含むすべての人が安全で快適な社会生活を送ることができるよう、ハード、ソフト両面のバリアフリー・ユニバーサルデザインを効果的かつ総合的に推進する観点から、その推進について顕著な功績又は功労のあった個人又は団体を表彰するものです。

関係府省庁、都道府県、政令指定都市を通じて推薦のあった29件の事例のうち、今年度は、内閣総理大臣表彰2件、内閣府特命担当大臣表彰優良賞3件及び奨励賞4件が選考され、表彰式において、松山内閣府特命担当大臣から受賞団体代表者に対し、表彰状が授与されました。

国など行政だけではバリアフリー・ユニバーサルデザインを普及させることはできません。関係機関、関係者が広く本事例集を活用され、様々な分野においてバリアフリー・ユニバーサルデザインへの理解と関心を深め、「国民一人一人が自立しつつ互いに支え合う共生社会の実現」を目指した心温まる活動の輪が広がっていく一助となりますことを期待いたします。



平成30年2月  
内閣府

平成29年度（2017年度）

バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰式

開催日：平成29年（2017年）12月21日（木）

開催場所：中央合同庁舎第8号館講堂

講

評



平成29年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰を受賞された皆様、誠におめでとうございます。

平成29年度のバリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰には全国から「施設整備」4件、「製品開発」6件、「活動等」19件、計29件の応募がありました。いずれも優れたものばかりで、ご推薦いただいた関係省庁、各都道府県・政令指定都市の皆さまに深くお礼申し上げます。第1次審査では各推薦団体から提出された応募書類により各選考委員が書面上で予備審査を行いました。その結果を基に選考委員会で慎重に協議し、現地調査候補を選考しました。現地調査では各推薦団体から提出されていた応募書類の事実確認、施設や製品、活動の現状確認、追加ヒアリング等を行いました。最終選考委員会では各委員からの現地調査報告を基に厳正な審議を経て下記9件を今年度の表彰団体として決定しました。

内閣総理大臣表彰を受賞された仙台市交通局は、地下鉄東西線各駅のユニバーサルデザイン化に積極的に取り組み、車両乗降部分の実物大模型によるワークショップでは、車両・ホーム間の段差、隙間縮小を実現し、車いす使用者が駅への事前連絡なく乗降できるなど、ユニバーサルデザインの新たな段階が極めて高く評価されました。同じく内閣総理大臣表彰を受賞された全日本空輸株式会社、ANAウイングス株式会社は、高齢者、障害者をはじめすべての人が快適に利用できる空港や航空機のハード、ソフト両面のサービスの展開を軸とし、この度はとくにタブレットを使用した多言語による機内外乗客サービス、樹脂製車いす、さらにはANAウイングス小型プロペラ機への独自の車いす使用者用搭乗機器の開発が極めて高く評価されました。

内閣府特命担当大臣表彰優良賞を受賞された石狩市は、全国の市町村で初の手話言語条例を制定し、市の各機関、学校教育の現場等さまざまな領域で聴覚障害者への理解を進める活動を強力に推進している点、同じく優良賞を受賞された株式会社エスコアールは、失語症による言語障害者へのリハビリ経験に始まり、高齢者にも使いやすい言語障害者向け教材開発を長年にわたり実践されてきた点が、同じく優良賞を受賞された道の駅常陸大宮は、地場産業の活性化や緊急時、災害時の防災活動拠点として、乳児から障害者まですべての人が利用しやすい道の駅づくりを徹底した点が高く評価されました。

また、内閣府特命担当大臣表彰奨励賞を受賞されたオプトニカ工房有限会社は、利用者の声を反映する特別支援教育教材、発達障害児用教材開発に従事され、結果「おけだま」という高齢者から子供までの誰もが楽しめるユニバーサル玩具の開発に成功した点、同じく奨励賞を受賞された篠原電機株式会社は、弱視者を含む視覚障害者のニーズに対応したLED信号灯を付加した盲人用音響ポールを実用化した点、戸田市立笹目小学校は、学校全体の教育活動をユニバーサルデザイン化する「ユニバーサルデザインを基礎とした学校づくり」を推進し、市内他校へ波及が期待される点、株式会社スワンは、長年にわたり知的障害者の就労支援を実現し、現在ではスワンベーカリー直営4店、フランチャイズ23店を含めて約350名の障害者の雇用拡大に貢献した点が高く評価されました。

以上、受賞された各団体のバリアフリー、ユニバーサルデザインの推進事業は、私たちの共生社会をより豊かに発展させていくものと確信します。これらの受賞事例は、今後国内ばかりでなく海外へも広く発信されていくことが期待されます。最後になりますが、沢山の応募団体をご推薦して頂きました、都道府県・政令指定都市をはじめ全国各地の関係諸機関に改めて深く感謝申し上げます。

バリアフリー・ユニバーサルデザイン

推進功労者表彰選考委員会

委員長 高橋 儀平

# 目 次

## 内閣総理大臣 表彰（2団体）

仙台市交通局 ..... 1

全日本空輸株式会社・ANAウイングス株式会社 ..... 3

## 内閣府特命担当大臣表彰 優良賞（3団体）

石狩市 ..... 6

株式会社エスコアール ..... 8

道の駅 常陸大宮 ..... 10

## 内閣府特命担当大臣表彰 奨励賞（4団体）

オプトニカ工房有限会社 ..... 13

篠原電機株式会社 ..... 15

戸田市立笹目小学校 ..... 17

株式会社スワン ..... 19

過去の受賞者一覧 ..... 21

バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰要領 ..... 29

選考委員会委員名簿 ..... 30

# 内閣総理大臣 表彰

国土交通省推薦

## 仙台市交通局

(宮城県仙台市)

### 【概要】

- 平成27年12月に開業した仙台市地下鉄東西線は、高齢者や障害者を含む誰もが安全、安心に利用できる施設とするため、公営企業としての特質を最大限に発揮して市のまちづくり担当部局と協調し、実効性のより高い施設整備を行った。
- 具体的には、施設整備などのハード面と、職員教育・啓発活動のソフト面の両面について基本計画を立案し、設計段階では、車両モックアップに模擬ホームを加え、車椅子利用者による実際の乗降を体験したうえでのアンケート調査結果を設計に反映させたり、工事完成後には車椅子、視覚障害、聴覚障害の利用者それぞれに見学会を開催し、そこで得られた意見により開業までに改良を加えるなどの改善を図った。
- 駅をまちづくりの中核施設として位置づけ、障害者を含む市民が自由に使えるトイレをラッチ外に設置するとともに、地下鉄と他の公共施設等との境界領域における誘導ブロックの連続や、サインの統一など、まちづくりや公共施設管理を担当する市の部局と調整を図ることにより、まちづくりとしての一体のユニバーサルな施設整備を実現した。



車両モックアップ（段差の確認）

## 【特に顕著な功績・功労】

➤ 仙台市地下鉄東西線の建設・開業にあたり仙台市交通局では、まちづくりと一体に進めたバリアフリー施設整備による旅客サービスの提供や計画段階からの障害当事者参加による実効性の高い施設整備を進めるため、以下の取組みを実施した。

障害者からの意見を積極的に取り入れ、可能な限り設備の追加等を実施

- ・全車両に、車椅子・ベビーカー用のフリースペース設置及び縦手すりの追加
- ・多機能トイレを、左勝手・右勝手の複数設置
- ・拡幅自動改札口への誘導ブロックの設置
- ・発達障害等に配慮し、可動式ホーム柵扉への行先方向別色の追加 等

車椅子利用者の自主性を重んじ、係員の介添なく移動できる経路を整備

- ・車椅子利用に対応した券売機の設置
- ・すべての自動改札口を拡幅化
- ・隙間調整材によるホームと車両間の段差・隙間の縮小 等

ユニバーサルデザインの考えに基づく案内情報の提供

- ・車両内案内の多言語化及びサインの表面輝度アップによる視認性向上
- ・緊急情報の即時提供が可能な駅・ホーム・車内サイン 等



すべて拡幅化された自動改札



ホームと車両間の段差・隙間の縮小

➤ あわせて、仙台市交通局の組織全体としての資質向上をめざし、心のバリアフリー化推進として、バリアフリーに関する職員への教育・マナーアップ啓発活動・市民向け講座の開催・情報提供などの活動を行うことが計画されており、これらの取組みは、これから2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を迎える上でも、政令指定都市の先進例として高く評価できるものであり、今後の波及効果も期待できる。

内閣総理大臣  
表彰

国土交通省推薦

# 全日本空輸株式会社 ・ANAウイングス株式会社

(東京都港区・大田区)

## 【概要】

- 全日本空輸株式会社及びANAウイングス株式会社は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催を迎えるにあたり、また将来的な高齢化社会を控え、ソフト、ハード両面からバリアフリー化を推進し、障害を持つ方だけでなくすべての利用者が不安・ストレスなく、より快適に航空機を利用できる環境の整備に努めており、今般、利用者からの声を参考に、空港や機内における各シーンにおいて、製品開発、導入に至ったものである。

## 【特に顕著な功績・功労】

- 空港、機内でのコミュニケーションを円滑にサポートする製品開発

アナウンス等での情報が聞き取れず、イレギュラー発生時に不安に感じている耳や言葉に障害のある方や外国人の方に対して、従来は、4か国語(日英中韓)による紙のコミュニケーションボードを使用し対応していたが、文字と音声、内容を容易に理解できるピクトグラムを活用と多言語(17言語)対応により、空港、機内で係員とのコミュニケーションをサポートする



電子版コミュニケーション支援ボード  
(17言語に対応)

ツールとして、タブレット端末を活用した「電子版コミュニケーション支援ボード」を開発、導入し、平成28年からサービスを開始した。機内、空港での活用を通じて、利用者からの声や反応を把握しながら、更なる内容のアップデートを可能としており、より一層多様化する顧客ニーズに対応できるようになった。

➤ 搭乗手続きから、保安検査場、機内までの移動を快適にサポートする製品開発

「空港の保安検査場がストレスポイントである」という車椅子利用者からの意見を踏まえ、保安検査時に金属音が鳴らない車いすを、車椅子メーカーの株式会社松永製作所と約3年かけて共同開発した、「樹脂製車いすmorph(モルフ)」を導入した。この車椅子は、保安検査場で金属探知機に反応せず、かつ航空機の座席まで乗ったまま移動することができるもので、空港で樹脂製を採用するのは全国初であり、また、金属の冷たい印象を払拭し、温かみのある丸みを帯びたデザインなど、利用者からも好評を得ていることから、一部機能改修を行ったうえ、順次車椅子の入れ替えを進め、利用者にストレスなく保安検査場を通過し、航空機に搭乗できる環境を整える予定である。



樹脂製車いすmorph(モルフ)

➤ 航空機の搭乗、降機をスムーズ、快適にサポートする製品開発

ANAウイングスが運航するDHC8-Q400型機(以下Q400)は、他機種に比べて機体が低く、各空港に設置されている搭乗橋(以下PBB)を接続することができず、利用者は、ターミナルと航空機間をバスや徒歩で移動する必要があった。車椅子利用者は、別途特殊な機材を装着・離脱するという特別対応が必要で搭乗・降機に時間を要していたが、全ての利用者へ快適性と利便性を提供すべく、国内で初めて、Q400のドアとPBBの接続を可能にする「PBBアダプター」を開発し、サービスを開始した。これにより、車椅子利用者は特別な機材を再装脱着することなくアダプターに昇降式のエレベーター機能を設置することで車椅子ごと搭乗が可能となり、また、すべて

の利用者が雨、風、雪にさらされることなく搭乗することが可能となったことが、社内外より評価されている。現在は、松山空港、千歳空港、青森空港、鹿児島空港で運用しているが、今後は、Q400が就航し、PBBが設置されている空港へ順次展開し、普及を進めていく予定である。

P B Bアダプター開発前



P B Bアダプター開発後



- これらの取組みは、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を迎える上でも、航空機・空港の先進例として高く評価できるものであり、自社のみならず他社へ、また、国内のみならず世界へといった波及効果も期待できる。

内閣府  
特命担当大臣表彰  
優良賞

厚生労働省推薦

# 石狩市

(北海道石狩市)

## 【概要】

- 石狩市は、聴覚障害者の暮らしやすいまちを目指し、平成25年に手話条例を制定し、テレビ電話と手話通訳を活用したサービスなどを次々と導入。市民の意識にも変化が表れ、学校や住民からの依頼を基に市が行っている出前手話講座を受講する者も年々増加、石狩消防署では継続的な訓練を実施して緊急時に備え、市職員の8割超が簡単な手話挨拶が可能など、市長を始め市民全体が聴覚障害者や手話への理解と共感が着実に広がっている。

## 【特に顕著な功績・功労】

### ➤ 手話出前講座・出前授業の実施

・学校や事業所等に指導者を派遣して「手話」や「ろう者」について知ってもらう取組みを行っており、中でも石狩消防署では、救急現場で聞こえない人に対応する時に、救急隊員が手話を含めたコミュニケーションができるように週4回手話講習を実施している。

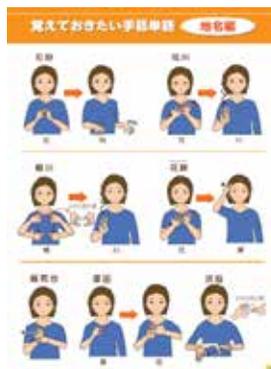


・手話出前授業については、総合的な学習の時間のテーマに合うように授業実施のための教育プログラムを市で作成しており、昨年度は、市内の小学校13校のうち10校が、中学校8校のうち6校が出前授業を実施した。



・副教材「手話でこんにちは」を作成し、ろう者の講師と手話通訳者が授業を展開し、わかりやすい内容で手話やろう者への理解を広げている。

・また、継続的に実施していくため、地元ろう協会、手話通訳者、行政職員から構成される「石狩市手話出前講座運営委員会」を設置し、市民が主体となって活動している。



#### ➤ 石狩手話フェスタを開催

・市や市民団体が中心となって、今年3回目となる石狩手話フェスタを開催。手話体験や手話パフォーマンスなど、手話への啓発活動を行っている。

#### ➤ 電話リレーサービスの実施

・電話が耳の聞こえない人にも使える環境を目指し、聞こえない人が電話を利用するためのしくみである「電話リレーサービス」事業を独自に実施している。手話通訳者が手話による通訳を行い、聞こえない人と話したい相手先との電話によるコミュニケーションを支援しており、昨年度における登録者12名、年間利用件数53件の実績があった。情報アクセスのバリアのない社会の取組みの1つとして、ろう者からも高く評価されている。

#### ➤ 石狩市は、誰でも一緒に暮らせるユニバーサルデザイン社会を目指すために、行政、当事者、市民、学校、企業全体が相互協力し、市民全体を巻き込んで社会づくりを進めている点が大きな特徴であり、自治体の取組みとして高く評価できるものであり、今後、情報共有をさらに進め、日本全体のバリアフリー・ユニバーサルデザイン社会につなげていく工夫を進めていくことが期待される。

内閣府  
特命担当大臣表彰  
優良賞  
千葉県推薦

# 株式会社エスコール

(千葉県木更津市)

## 【概要】

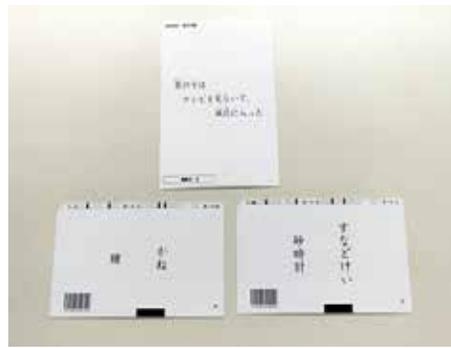
- 株式会社エスコールは、他社に先駆けて、言語障害者向けの各種検査・訓練教材等の開発・製造・販売に、創業直後から取り組んできたパイオニア的企業である。
- 同社社長は、言語聴覚士として言語障害者のリハビリに携わった経験から、臨床現場で蓄積された教材の製品化のアイデアが原動力となり起業。言語聴覚士や医師ら専門家の協力も得ながら、失語症患者訓練用教材等を次々に企画・開発し、また、失語症者等の意見を参考に改良を重ねるなど、特に高齢の失語症者にも使いやすい機器を含めた言語障害者向けの教材開発を展開している。

## 【特に顕著な功績・功労】

- 従来、失語症患者の大部分が高齢者であるという事実を考慮した教材がなく、子供向けの絵カードや絵本を用いた訓練をせざるを得なかったが、同社では、失語症患者の訓練で使える写実的なイラストのカードがほしいといった現場の声に応え、「絵カード2001」を発売し、精神面にも繊細に配慮した訓練が行えるようになった。
- また、失語症者が病院での訓練後に自宅で自習練習する教材がなく、この問題を解決するため同社では、同社の主力製品である、言語訓練用絵カード「アクトカード」を開発。同社の「音声ペン」を用いることによりアクトカードのイラストが示す言葉が発声されるため、失語症者自身が自宅や病院で自習練習を行うことが可能となり、現在では、「絵カード2001」とあわせて、全国の病院や特別支援学校、障害者施設において広く採用されている。



音声ペン（アクトボイスペン）



アクトカード

➤ この他同社では、言語障害者への支援や社会的認知が遅れる中、言語障害者の訓練を行うための教科書やマニュアルの企画・販売も行っている。商品化したもののほとんどは病院や相談機関での臨床から生まれたものであり、特に、監修に関わった「国リ八式＜S-S法＞言語発達遅滞検査」のマニュアルは、多くの臨床結果と理論に基づいた訓練法をまとめており、全国の言語聴覚士の養成現場で教科書として採用されている。

➤ このように同社は、社会的認知が未だ不十分な失語症をはじめとする言語障害者への訓練教材の開発の企業であることに加え、障害者関連書籍の出版業務、販売を長年にわたり取り組むなど、教材や書籍を通して障害者に対する社会の理解を深めることに大きく貢献している。



内閣府  
特命担当大臣表彰  
優良賞

茨城県推薦

# 道の駅 常陸大宮

(茨城県常陸大宮市)

## 【概要】

- 平成28年3月に開業した道の駅常陸大宮は、道路利用者の休憩施設としてだけでなく、常陸大宮市の新たな産業拠点の場、シティーセールスの場、さらに災害時の防災拠点となることを目的に整備されており、利用者に安全・安心して利用してもらえるよう、計画当初から、ユニバーサルデザインの考えに基づいた設計や福祉関係部局との協議により、平常時の利用はもちろんのこと、災害時においても、体の不自由な方や妊産婦の方などが安心して利用できるよう、様々な配慮がされており、また、専任の担当者を配置し、体の不自由な利用者に見守りし、すぐにサポートできる体制をとっているなど、誰でも不自由なく利用できる環境づくりに取り組んでいる。

## 【特に顕著な功績・功労】

- 多様な利用者に対応した施設整備

- ・段差解消・点字ブロック設置
- ・触知サイン(トイレの点字パネル)
- ・屋根付きの身障者用駐車スペース  
(4台分、屋根付きは3台分)
- ・茨城県内初のダブルスペース



身障者用駐車スペース

- (思いやり駐車スペース4台、マタニティー駐車スペース2台)

- ・赤ちゃんの駅(授乳やおむつ替えなどで気軽に立ち寄ることができる施設として登録、地域全体で子育てを支援)

・オストメイト対応トイレやおむつ替えスペース、ベビーチェア、子供用トイレなどを備えた多目的トイレ、AED設置、補助犬対応 等

### ➤ 情報発信コーナー

・地域、観光振興をはじめ、イベント情報や行政情報など多様な情報提供(展示を含む)を行うことができる情報発信コーナーを整備。また、情報提供方法として常駐のコンシェルジュ(案内人)を配置し、地元ならではの細やかな情報を提供しており、必要に応じて、行政相談窓口などを紹介している。



コンシェルジュ配置

### ➤ ユニバーサルデザインの食器

・体の不自由な方や高齢者などが楽しく食事できるよう、レストランに食事しやすいように工夫された、ユニバーサルデザインのマグカップ、お椀、箸、スプーン、フォークを各5セット常備し、要望に応じてすぐに提供できる体制を整えている。

### ➤ 車椅子の方への対応

・車椅子同士がすれ違える通路幅(1.4m程度)を確保し、商品選びができるよう什器やレジ台の高さにも配慮しており、車椅子の方が不便を感じている様子を見かけたら、店員による声掛けを実施している。

・定期的(1時間に1回程度)に巡回し身障者用駐車スペースに身障者マークを表示していない車両や健常者などを見かけたら、全館放送で車両移動の案内を行っており、また、貸し出し用車椅子も身障者用駐車スペースに近いトイレ棟に設置するなど、利便性の向上に努めている。

➤ 従業員の救命救急講習の受講

・従業員(社員10名)が救命救急講習を受講し、緊急時の対応についての知識を習得し、常陸大宮市消防本部と連携をとり、模擬訓練などを通じ技能向上に努めているほか、認知症サポーター養成講座も受講しており、認知症に対する理解を深めるとともに、認知症の方やその付き添いの方も、安心して利用できる体制を整えている。

➤ 災害時の防災拠点

・非常時には自家用発電機による電源確保や災害用井戸を利用したトイレの設置、常設のガスタンクから簡易コンロへのガス供給による炊き出しが可能になるなど、災害時の防災拠点の機能を有している。

・また、敷地内にヘリポートが設けられており、物資輸送の他、県内6か所の救急救命センターへの患者搬送にも活用できる体制を整えている。

➤ このほか、ハードの整備に加え、ソフト面においても、障害者や高齢者をはじめ多くの方が利用しやすいようにと常に利用者の声を反映しつつ改善に努めており、また、地域の一つの核としての役割を果たしているなど、滞在型の道の駅として一つのモデルになると期待される。



内閣府  
特命担当大臣表彰  
奨励賞

栃木県推薦

# オプトニカ工房株式会社

(栃木県小山市)

## 【 概 要 】

- オプトニカ工房株式会社は、発達障害児者の療育、教育現場の教材教具の企画・製造・販売を主に行っている。一般教材の適用が難しい特別支援学校等における発達障害児者の使い勝手や従事者の声を商品開発に反映させ、ユニバーサルデザインの考え方を設計に活かし、誰もが使いやすいものづくりを目指して事業を続けている。現場の声を聴く中で、教材はあれど遊具不足の状況に気づき、遊具の企画・開発に着手。新商品「おけだま」は、「ユニバーサルゲーム」という新しいカテゴリを提案し、開発を進め販売に至った。

## 【 特に顕著な功績・功労 】

- 形や大きさが異なる板に点数を与えてタワー型に組んだ高さ75cmの「おけだま」は、専用のお手玉を投げて板に乗せる(投げ置く)シンプルな遊びで、障害の有無、年齢、性別等に関わらず、誰にでも親しみやすく、誰とでも一緒に遊ぶことができる上に、遊び方の自由度が高い。



➤ 「おけだま」は、安全な部品、馴染みやすく優しい素材と質感、対象年齢を選ばないデザイン、簡単なルールを採用することにより利用の範囲が広がり、特別支援学校のみならず福祉医療施設、高齢者施設、リハビリ施設等でも活用されている。

➤ 平成15年には、オリジナルブランド「プチーク」を立ち上げ、教育・福祉・病院等の現場における「安全性・耐久性・持続性」を主眼に、発達障害児者の使い勝手の良い独自商品の提供を開始。

その中でも特に、丈夫で軽量のポリプロピレン製の「おりたたみシールド」は、児童1人分の机を囲い、



、自閉症や注意欠陥・多動性障害(ADHD)など、

パニック対応や学習に集中する際の視界を遮る衝立として、全国の特別支援学校に広まっている。それまで必要とされながら適切な製品がなかったもので、現場への貢献度が高い。

➤ 現場の希望や感想等の声をすぐさま商品開発に反映するという中小企業の強みを活かして作成された製品は、特別支援教具・教材としての利用に留まらず、保育施設、高齢者施設、避難所等にも活用できることは大変評価できる。また、更なる商品の開発を続けており、今後の発展も期待できる。

内閣府  
特命担当大臣表彰  
奨励賞

厚生労働省推薦

# 篠原電機株式会社

(大阪府大阪市)

## 【概要】

- 43年前には大阪府警から交通信号用端子箱の承認を得て、その後盲人用音響ポール(スピーカーと押しボタン)を開発し、府内に2,000箇所設置。その中、弱視者の方から歩行者信号灯器が探しづらい、見えづらいとの声があり、盲人用音響ポールに歩行者用信号の補助としてLED信号灯を付加することを考案し実用化。同社は、福祉機器(横断歩行支援用補助装置)の開発のためのプロジェクトチームを結成し、多くの方が使いやすく、かつ街に馴染むように、同製品の改善・改良を行っている。

## 【特に顕著な功績・功労】

- 歩行者信号機は渡った側の高い位置にあるものと概念があったが、弱視者当事者からのヒヤリングを基に、横断歩行をする手前に設置されている音響ポールの利用を考え、歩行者信号の補助としてLED信号灯を付加するLED付音響装置を開発したことは先駆的である。



➤ LED付音響装置は現在、大阪府に7箇所、和歌山県に1箇所、愛知県に1箇所設置されている。大阪府警の事故発生状況調査では設置前3年間で14件発生していた自転車、歩行者事故が、設置後3年間で2件に減少したとの結果を得ている。

➤ 高い位置にある歩行者信号が見づらい高齢者や小さい子供にとっても、横断歩道の手前で低い位置に信号灯ある同装置は、目線に入りやすく安全・安心につながっている。平成27年には、「第9回キッズデザイン賞」も受賞している。



➤ また、同装置の安全性・有効性を検証するために学識研究者からなる調査研究委員会を立ち上げ、アンケート調査を行うなどの検証等を行うとともに、今後、必要とされている交差点に1箇所でも多く設置を進めるため、企業努力としてコスト削減を念頭に第二世代の開発を行っている。

➤ 利益に繋がり難いこの取組を長年にわたり地道に続けており、さらに、時代に沿ったスマートフォンを活用した取組も検討していることなど、今後の同装置の発展も期待できる。また、視覚障害者だけでなく、高齢者や幼児などのいわゆる交通弱者にとっても有用であると認められることから、バリアフリー社会の構築にも貢献している。

内閣府  
特命担当大臣表彰  
奨励賞

埼玉県推薦

# 戸田市立笹目小学校

(埼玉県戸田市)

## 【概要】

- 様々な課題のある子供たちが在籍している学校現場で「どの子にとっても安心できる居場所がある学校」、「どの子にとっても活躍の場がある学校」、「どの子にとっても『わかった』、『楽しい』を実感できる授業」をつくっていくというユニバーサルデザインの考え方を基盤とした学校づくりを推進している戸田市立笹目小学校。ユニバーサルデザインの推進にあたっては、一部の環境整備や限られた職員による活動ではなく、学校の教育活動全体をユニバーサルデザイン化する研究・実践に取り組み、平成25・26年度には、戸田市教育委員会の研究委嘱を受け、「ユニバーサルデザインを基盤とした学校づくり」の研究に取り組んでいる。
- さらに、市教育委員会では、笹目小学校の研究成果である「授業のユニバーサルデザイン化5つのチェックポイント」を市の指導の重点に取り入れ、市内の全小・中学校に授業改善ツールとして活用を指示している。



## 【 特に顕著な功績・功労 】

- 笹目小学校では、「授業デザイン」(どの子も授業に参加でき「わかる・できた」を実感できるような授業づくりの取組)、「学級づくり」(落ち着いて授業に取り組んだり、生活したりできるような人間関係づくりや自己肯定感を高めるような取組)、「教育相談」(困っている子や困っている保護者とじっくり話し合うことができるようにしていく取組)の3つの柱を中心に、それらを統合・支える環境整備や他機関との連携の取組を行っており、学校全体が落ち着き、児童の学力が向上するなどの成果が上がっている。
  
- 「ユニバーサルデザインを基盤とした学校づくり」の研究成果は、研究発表会をとおして、全国の教育関係機関及び教育関係者に向けて発信しており、また戸田市内の小・中学校では、市教育委員会の主導のもと、学校教育におけるユニバーサルデザインの必要性についての認識が一気に高まり、笹目小学校の取組をモデルとした「教育活動におけるユニバーサルデザイン化」が導入されるなど、広く浸透している。
  
- 平成26年度までの3年間で得られた成果を一層拡充していくことをねらいとして、新たに平成27年度から平成29年度までの市教育委員会の研究委嘱を受け、「ユニバーサルデザインと学校づくり～推進から拡充へ～」を研究主題に設定し、研究を継続することとするなど、今後の発展等も期待することができる。

内閣府  
特命担当大臣表彰  
奨励賞

文部科学省推薦

# 株式会社スワン

(東京都中央区)

## 【概要】

- 各地の作業所において、そこで働く障害者の給料がわずか1万円にも満たず、自立するには程遠い現状を知ったことから、月給10万円以上支払うことを実践する「焼きたてのおいしいパンのお店」として、平成10年6月にスワンベーカリー銀座店を開店。現在は、直営4店、フランチャイズ23店を展開し、350名以上の障害者が、経済的な自立と社会参加を果たしている。

## 【特に顕著な功績・功労】

- スワンベーカリーは、直営店だけでなく、フランチャイズ契約も行っており、障害者の雇用機会の拡大に貢献している。現在、すべての店舗における障害者雇用割合は約6割である。その中には、スワンベーカリー十条店のように地域の特別支援学校関係者や保護者と密接な連携のもとで経営を行っている店舗もある。
- 各店舗の売り上げによって障害者等への給与を支払っており、経営上の困難さにより、閉店したケースはこれまでにない。



- 誰でもパンをおいしく焼けるように製パン業者が開発した冷凍パン生地を使用することで、障害者が作業しやすいような工夫を行っており、平成10年の開店以来、19年間勤務している障害者もいる。
- 施設・作業所に通う障害者支援のために、施設・作業所の事業の一つに野菜販売を組み込む「アグリスワン」を実施。(株)スワンにおいて、野菜の生産者と直接会って商品を見た上で安心安全な商品を選別し、生産者より直接作業所等に届け、その商品を作業所等で働いている障害者が販売して利益を得る仕組みを構築している。現在、この事業により全国の300施設を支援している。
- 施設・作業所に通う障害者支援のために、施設・作業所において、スワンのクリスマスケーキの販売・取り次ぎを実施。(株)スワンから施設・作業所に対する手数料として1個あたり500円の支払いを行っており、去年は約1万個を販売。
- 以上のように株式会社スワンは、障害者の自立と社会参加の支援を目的に多くの障害者を雇用する障害者雇用のモデルケースとして、また、特別支援学校生徒の就職のロールモデルとなる取組みのみならず、「アグリスワン」のような施設・作業所を支援する事業も行うなど、同社の障害者自立・社会参加支援事業は評価できるものであり、今後の事業継続も期待される。



# バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰

～これまでの受賞者一覧～

	第1回受賞 平成14年度 (2002年度)	第2回受賞 平成15年度 (2003年度)	第3回受賞 平成16年度 (2004年度)
内閣総理大臣表彰	新井リゾート開発株式会社	京成ホテル株式会社	湖南省
	下田タウン株式会社		南砺市
内閣官房 長官表彰 (第3回までは、 内閣官房 長官表彰 となる。)	Accessible盛岡	伊勢佐木町1・2丁目 地区商店街振興組合	荒 由利子
	伊丹市	岐阜経済大学まちなか 共同研究室マイスター 倶楽部	伊予鉄道株式会社
	財団法人共用品推進機構	訓子府町	株式会社 イトーヨーカ堂
	株式会社京急 ファインテック	医療法人圭佑会 澤歯科医院	株式会社 オリエンタルランド
	財団法人 すこやか食生活協会	伊勢原・誰もが住みよ い街づくり懇話会	高齢者住宅環境整備 ボランティア会
	NPO デイヘルプ	NPO 日本サスティナブル・コミュニティ・センター	仙台シニアネットクラブ
	NPO 福祉のまちづくり 市民ネットワーク	肥後タクシー有限会社	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備 支援機構、 九州旅客鉄道株式会社
	バリアフリーデザイン 研究所	広島電鉄株式会社	
	むくどりホーム・ ふれあいの会	福岡県田川郡 大任町立大任小学校	トヨタ自動車株式会社
		村山 輝子	
	有限会社料亭こもだ		

- 1 「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰」は、第6回までの間、「バリアフリー化推進功労者表彰」として実施
- 2 「受賞者」の名称は当時のままの名称で記載している
- 3 NPOとは、特定非営利活動法人(NPO法人)の略。

	第4回受賞 平成17年度 (2005年度)	第5回受賞 平成18年度 (2006年度)
内閣総理 大臣表彰	東陶機器株式会社	コクヨ株式会社
	NPO 大阪障害者雇用 支援ネットワーク	
内閣府 特命担当 大臣表彰	大牟田住まい・まちづくり ネットワーク	ケア付き青森ねぶた 「じょっぱり隊」
	奥野 花代子	京王電鉄株式会社
	東京急行電鉄株式会社	公立豊岡病院組合
	福岡市交通局	NPO シーエス障害者 放送統一機構
	有限会社雅樹雅	とっておきの音楽祭 実行委員会 SENDAI
	有限会社ハートフル・ウィング	富山ライトレール株式会社
		平田観光株式会社
		THE MAGICAL TOY BOX

	第6回受賞 平成19年度 (2007年度)	第7回受賞 平成20年度 (2008年度)
内閣総理大臣表彰	株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ	品川区立戸越台中学校
	中部国際空港株式会社	富士ゼロックス株式会社
内閣府 特命担当大臣表彰 (優良賞)	岡山県立興陽高等学校	イオン九州株式会社 イオン鹿児島ショッピングセンター
	花王株式会社	泉北若松台A B住宅 団地管理組合
	京都リップル	全国障害学生支援センター
	NPO 全国視覚障害者情報提供施設協会	豊中市
	凸版印刷株式会社	横浜市交通局
	はあとねっと輪っふる	
	兵庫県立福祉のまちづくり工学研究所	
	ユニバーサルデザインリフォーム プラザ静岡	
内閣府 特命担当大臣表彰 (奨励賞)	大洗サーフ・ライフセービングクラブ	池野通建株式会社
	大阪市交通局	五木村立五木中学校・ 熊本県立人吉高等学校五木分校
	大日本印刷株式会社	株式会社袖ヶ浦自動車教習所
	トーフ株式会社	NPO 伊勢志摩バリアフリー ツアーセンター
	NPO 子育て支援のNPOまめっこ	NPO 市民生活支援センター ふくしの家
		NPO はままつ子育てネットワーク ぴっぴ
		NPO プロジェクトゆうあい
		ピュア・フィールド風曜日
		北極しろくま堂有限会社

	第8回受賞 平成21年度 (2009年度)	第9回受賞 平成22年度 (2010年度)
内閣総理大臣表彰	株式会社東京信友	NPO Color Universal Design Organization
		日本理化学工業株式会社
内閣府特命担当大臣表彰 (優良賞)	愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院	株式会社サン工藝
	カシオペア連邦はーとふる発見隊	株式会社特殊衣料
	株式会社タカラトミー	株式会社日立製作所 ユニバーサルデザイン 出前授業プロジェクトチーム
	財団法人安全交通試験研究センター	東京電力株式会社
	財団法人明治安田こころの健康財団	NPO ウィズアス
		有限会社アイ・シー・アイ デザイン研究所
内閣府特命担当大臣表彰 (奨励賞)	尼崎交通局	あい・あーる・けあ株式会社
	NPO 子育てネットすくすく	刈谷市総合文化センター アイリス
	NPO 多文化共生センターきょうと	
	NPO ユニバーサルデザイン・結	

	第10回受賞 平成23年度 (2011年度)	第11回受賞 平成24年度 (2012年度)
内閣総理 大臣表彰	ケージーエス株式会社	シナノケンシ株式会社
		社会福祉法人 全国手話研修センター
内閣府 特命担当 大臣表彰 (優良賞)	オムロン ソーシャル ソリューションズ株式会社	NPO UDくまもと
	株式会社富士レークホテル	埼玉県警察本部交通部交通規制課
	株式会社 湯郷プラザホテル 季譜の里	社会福祉法人 太陽の家 サンストア
	株式会社らむれす・三角山放送局	日進市立図書館
	NPO まちづくり推進機構岡山	南医療生活協同組合
内閣府 特命担当 大臣表彰 (奨励賞)	国際ユニバーサルデザイン協議会	早稲田大学ボランティアサークル 積み木の会

	第12回受賞 平成25年度 (2013年度)	第13回受賞 平成26年度 (2014年度)
内閣総理 大臣表彰	日本聴覚障害学生高等教育支援 ネットワーク (PEPNet - Japan)	和歌山県立博物館施設活性化事業 実行委員会・和歌山県立博物館
内閣府 特命担当 大臣表彰 (優良賞)	株式会社アメディア	藤野 稔寛
	NPO ケーネット知楽市	株式会社電制
		日本ブラインドサッカー協会
内閣府 特命担当 大臣表彰 (奨励賞)	いしかわ総合スポーツセンター	大口町立大口南小学校
	有限責任事業組合 A S I 栃木	てまるプロジェクト
	有限会社川藤	
	京都府立京都八幡高等学校・ 京都府立八幡支援学校	
	シティホールプラザアオーレ長岡	

	第14回受賞 平成27年度 (2015年度)	第15回受賞 平成28年度 (2016年度)
内閣総理 大臣表彰	株式会社オーエックス エンジニアリング	株式会社ジェイ・ティ・アール
		株式会社静岡新聞社・ 静岡放送株式会社 メディア・ユニバーサルデザイン プロジェクトチーム
内閣府 特命担当 大臣表彰 (優良賞)	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団 横浜能楽堂	有限会社さいとう工房
	川崎鉄工所株式会社	なにわ一水
	株式会社主人公	
	地域共生型 福祉施設整備協議会	
内閣府 特命担当 大臣表彰 (奨励賞)		ヤマハ株式会社新規事業開発部 SoundU Dグループ
		座間キャラバン隊

	第16回受賞 平成29年度 (2017年度)	第16回までの 受賞件数
内閣総理 大臣表彰	仙台市交通局	内閣総理大臣表彰 25件
	全日本空輸株式会社・ ANAウイングス株式会社	
内閣府 特命担当 大臣表彰 (優良賞)	石狩市	内閣官房長官表彰 (1回～3回) 28件
	株式会社エスコアール	内閣府特命担当大臣表彰 (4回・5回) 14件
	道の駅 常陸大宮	内閣府特命担当大臣表彰 優良賞 (6回～16回) 48件
内閣府 特命担当 大臣表彰 (奨励賞)	オプトニカ工房有限会社	内閣府特命担当大臣表彰 奨励賞 (6回～16回) 35件
	篠原電機株式会社	
	戸田市立笹目小学校	
	株式会社スワン	
		総計 150件

# バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰要領

平成13年11月6日  
バリアフリーに関する関係閣僚会議決定  
平成29年4月3日  
一部改正

## 1 目的

この表彰は、高齢者、障害者、妊婦や子ども連れの人を含むすべての人が安全で快適な社会生活を送ることができるよう、ハード、ソフト両面のバリアフリー・ユニバーサルデザインを効果的かつ総合的に推進する観点から、その推進について顕著な功績又は功労のあった個人又は団体を顕彰し、もって、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する優れた取組を広く普及させることを目的とする。

## 2 表彰の対象

バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進に関して、施設の整備、製品の開発、推進・普及のための活動等において、極めて顕著な、又は特に顕著な功績又は功労のあった個人又は団体

## 3 表彰者

極めて顕著な功績又は功労があったと認められる者については内閣総理大臣、特に顕著な功績又は功労があったと認められる者については内閣官房長官（ただし、高齢社会対策又は障害者施策を担当する内閣府特命担当大臣が置かれている場合には当該大臣。以下「担当大臣」という。）

## 4 表彰の方法

表彰状及び記念品

## 5 表彰の時期

表彰は、年一回行う。

## 6 表彰の手続

都道府県等から推薦された者のうちから、別に定める選考委員会の意見を聴いて、内閣総理大臣又は担当大臣が被表彰者を決定する。

## 7 表彰の事務

表彰に関する事務は、関係各省庁の協力を得て、内閣府において行う。

## 8 その他

この要領に定めるもののほか、表彰の実施に関し必要な事項は、内閣府政策統括官（共生社会政策担当）が定める。

バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰  
選考委員会 委員名簿

委員長

高橋 儀平 東洋大学ライフデザイン学部  
人間環境デザイン学科教授

委員

勝尾 岳彦 株式会社コンシリウム代表取締役

金子 健 明治学院大学名誉教授

篠 佳子 国立障害者リハビリテーションセンター講師

関根 千佳 株式会社ユーディット会長

長岡 英司 社会福祉法人日本点字図書館館長

久松 三二 一般財団法人全日本ろうあ連盟常任理事

藤本 浩志 早稲田大学人間科学学術院教授

村田 幸子 福祉ジャーナリスト

(敬称略、50音順)



共生社会政策

内閣府政策統括官(共生社会政策担当)  
(参事官(総合調整担当))

〒100 - 8914

東京都千代田区永田町1 - 6 - 1

中央合同庁舎第8号館 8階

電話 : 03 - 6257 - 1445

FAX : 03 - 3581 - 0699

<http://www8.cao.go.jp/souki/barrier-free/bf-index.html>